

三年間よろしく願ひします 新しい農業委員 決定



七月十九日任期満了に伴う、奥出雲町農業委員会委員一般選挙が七月一日、告示されました。

立候補の届出を七月一日の午後五時で締め切ったところ、三十人の届出があり、選挙による委員定数を超えなかったため、七月六日に予定されていた投票は行わず、届出のあった三十人全員の方が当選、七月六日には当選証書が付与されました。

また、選任による委員（学識経験者）については、奥出雲町議会から二人が推薦、関係団体（農・JA・改良区）からは役員会での互選により三人の推薦を受けました。

新しい農業委員の皆さんは次のとおりです。

（届出順）

【選挙による委員Ⅱ三十人】
・糸原 功（八川）
・藤原 純夫（小馬木）
・永瀬 博道（下阿井）

・伊帳田力雄（稲原）
・佐藤 芳雄（大馬木）
・森山 富夫（三沢）
・若槻 隆一（稲原）
・和泉 英富（上阿井）
・松崎 忠司（下横田）
・宇田川光好（佐白）
・佐々木敏視（小馬木）
・佐藤 勉（亀嵩）
・金倉 弘美（下阿井）
・原田 勲（郡）
・梅木 重信（八川）
・松原 武雄（高尾）
・嵐谷 勝義（竹崎）
・渡部 光義（上阿井）
・安部 良隆（三所）
・松原 恒吉（大谷）
・藤原 一利（大馬木）
・朝鳴 栄人（大呂）
・吉川 茂（河内）
・藤井 誠一（八代）
・浅野 昭憲（大呂）
・恩田 福男（三成）
・村上 博（亀嵩）
・水岩田幸徳（中村）
・恩田 嘉明（上三所）
・吉田 勉（横田）



▲当選証書付与式の様子

社会を明るくする運動 青少年の非行防止 メッセ—ジ伝達式

七月の「社会を明るくする運動」と「青少年非行問題に取り組む全国強調月間」に合わせ、七月二日、役場仁多庁舎で、関係者が岩田町長に協力要請のメッセ—ジを伝達しました。

伝達式には、保護司会、更正保護女性会、少年補導員、地域安全推進員などの関係団体から約三十人が出席しました。

岩田町長からは「今後も関係機関、団体の皆さんと連携し、犯罪のない明るい社会づくりに努めたい」とあいさつがありました。

今年も声かけ運動や防犯パトロールなど地域ぐるみの活動が展開されます。



男女共同参画社会づくり功労者 赤水照子さん(中村)内閣総理大臣表彰

多年にわたり女性の社会参加や地位向上に貢献された「男女共同参画社会づくり」に極めて顕著な功績があったとして、6月26日、総理大臣官邸大ホールにおいて、男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰式が行われ、福田首相から赤水照子さんに表彰状が贈られました。（全国で12名が受賞）

赤水さんは、しまね女性会議（19団体で構成）の会長として、県内女性団体のネットワーク形成や女性の地位向上と社会参加の促進を図るため様々な取り組みを行われています。また、島根県連合婦人会会長など、婦人会活動を中心に女性の力を結集して、行政と連携し、地域の環境保全や美化、消費者被害への対応など幅広い分野で活躍されています。

奥出雲町国際交流協会 景山明彦会長が 「国際化功労者顕彰」を受賞

奥出雲町国際交流協会の景山明彦会長（三沢）に六月十一日（財）しまね国際センターから感謝状が贈呈されました。

景山会長は、平成六年七月の旧仁多町国際文化交流協会発足に尽力され、平成十四年七月から平成十七年三月まで会長、合併後は奥出雲町国際交流協会の会長として現在まで十四年の長きにわたり地域の国際化推進に多大な貢献を



されました。

特に、島根大学留学生のホームステイや新宿日本語学校の外国人生徒等をはじめ、国内外からの青少年の受入れに積極的に取り組まれています。

県知事から感謝状

馬木地区婦人会・環境保全功労

六月の環境月間記念行事の一環として、環境保全に顕著な功績のあった団体として、六月二十六日、馬木地区婦人会に県知事から感謝状が贈呈されました。（県内で五団体が受賞）

馬木地区婦人会では、馬木小学校水辺の学校（蛭の住む川づくり）への協力、砂田川の河川清掃、廃油石鹸づくりなどの水質浄化に長年にわたって活動を行われています。特に、子供エコクラブ応援団として、地域、行政を巻き

込み「枯れた葦の刈取り」に尽力されています。吉川正子会長からは「今後もこの取り組みを継続し、環境保全に対する輪が全町に広がることを期待しています」と話がありました。



▲吉川会長(左) 高橋副会長(右)

平成二十年度

奥出雲町消防団夏期総合訓練 第一回奥出雲町消防操法大会

六月二十二日、三成公園野球場、人工芝サッカー場横の多目的駐車場で、消防団員約六百人が一堂に会し、夏期総合訓練と操法大会が開催されました。

夏期総合訓練では、消防団員の指揮統一を図ることを目的に、小隊、中隊に分かれ規律あるきびきびとした訓練を行いました。

また、操法大会では、布勢分団第一部の宮崎成司団員が「記念すべき第一回大会で、厳しい訓練の中で身に付いた心技体を発揮し、正々堂々競技します」と力強く宣誓がありました。小型ポンプの部には十八チーム、自動車ポンプの部には九チームが参加し、日頃の訓練の成果を発揮し、消防技術に一層の磨きがかかりました。



▲操法大会の様子

操法大会成績

【小型ポンプの部】

優勝

八川分団第三部（二七四点）

準優勝

馬木分団第四部（二六四点）

第三位

馬木分団第一部（二五九点）

【自動車ポンプの部】

優勝

布勢分団第一部（二五五点）

準優勝 八川分団第一部（二三三点）
第三位 鳥上分団第二部（二二八点）
【総合の部】

優勝

八川分団

また、八月三日に出雲市で開催される第五十二回島根県消防操法大会に出場する八川分団と阿井分団の操法披露も行われました。

両分団の選手の皆さんには、奥出雲町の代表として健闘を祈ります。